

災害計画への合理的なアプローチ

災害時のBCP策定の必要性と策定する際のポイント
研修や訓練の実施の在り方

令和5年6月26日
NPO法人 高齢者住まいる研究会
寺西貞昭

本日のスケジュール

10 : 05 **私の話**

11 : 05 **休憩**

11 : 10 **セッション**

① **防災研修デモ**

② **意見交換**

③ **参加者へのメッセージ**

11 : 55 **自立支援協議会挨拶**

出身 愛知県一宮市

令和元年4月に熊本に移住

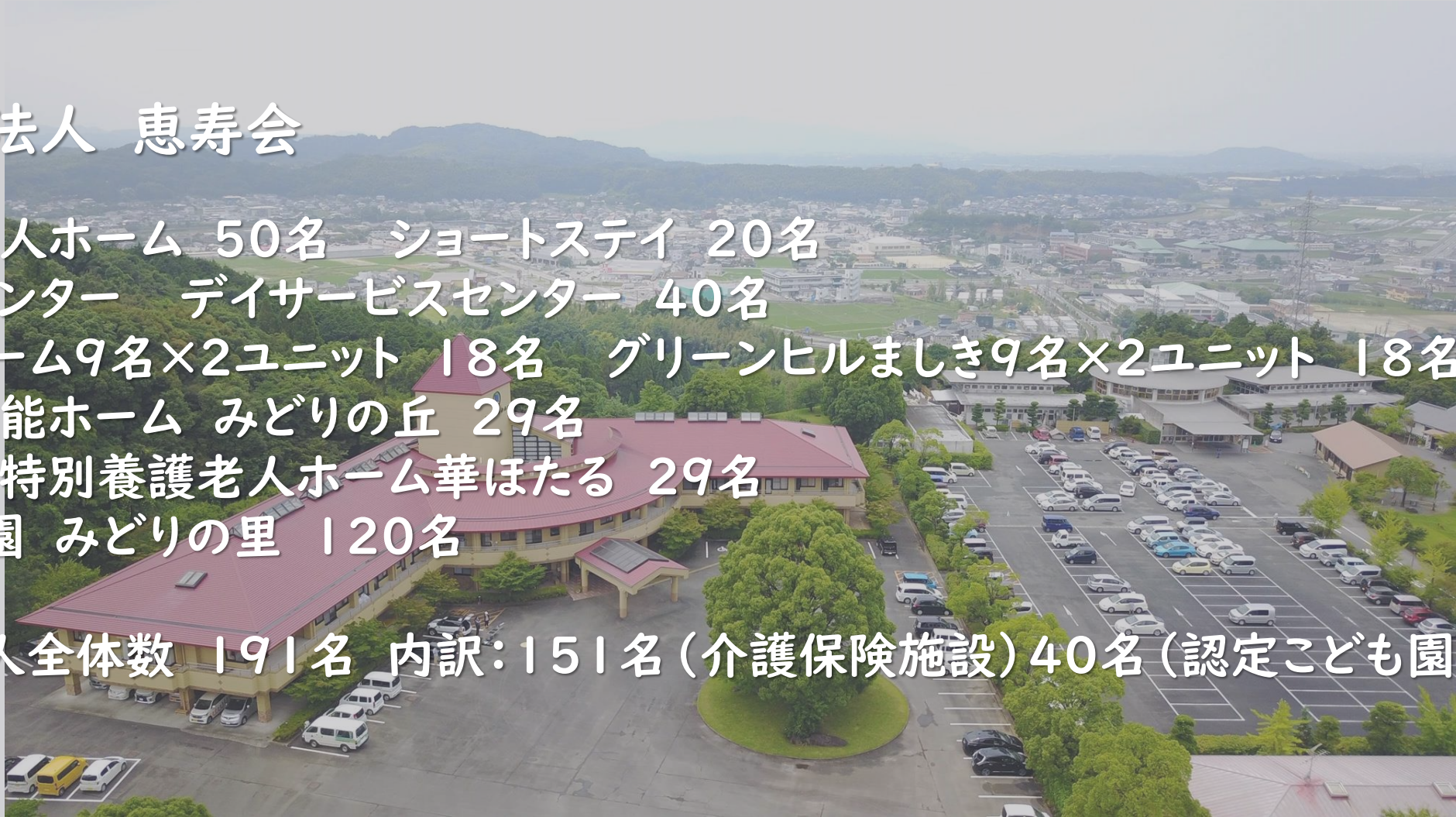
介護福祉士・介護支援専門員・防災士

グリーンヒルみふね

社会福祉法人 恵寿会

特別養護老人ホーム 50名 ショートステイ 20名
介護支援センター デイサービスセンター 40名
グループホーム9名×2ユニット 18名 グリーンヒルましき9名×2ユニット 18名
小規模多機能ホーム みどりの丘 29名
地域密着型特別養護老人ホーム華ほたる 29名
認定こども園 みどりの里 120名

職員数 法人全体数 191名 内訳:151名(介護保険施設)40名(認定こども園)



熊本地震

- ・ 震度7が2回

前震 (平成28年4月14日) 21時26分 M6.5

本震 (4月16日) 1時25分 M7.3

- ・ 益城町・南阿蘇

- ・ 熊本城の痛々しい姿・阿蘇大橋の崩落

益城町の次に大きな被害があった御船町

前震直後のグリーンヒルみふねの様子

上を見上げている職員。天井が心配なのだろうか？



【異様な光景】

グリーンヒルみふねの
ご利用者は雑魚寝の状態





鳴り続ける緊急地震速報のアラーム音



人間の力で動くはずのない書類
のキャビネットが動く
アラーム音の恐怖との闘い



前震・本震における建物・人的の被害等

【建物被害】

グリーンヒルみふね本館（半壊）

53,269,920円

グループホーム一号館（大規模半壊）

39,167,064円

グループホーム二号館（一部損壊）

6,085,800円

小規模多機能ホームみどりの丘（半壊）

25,720,820円

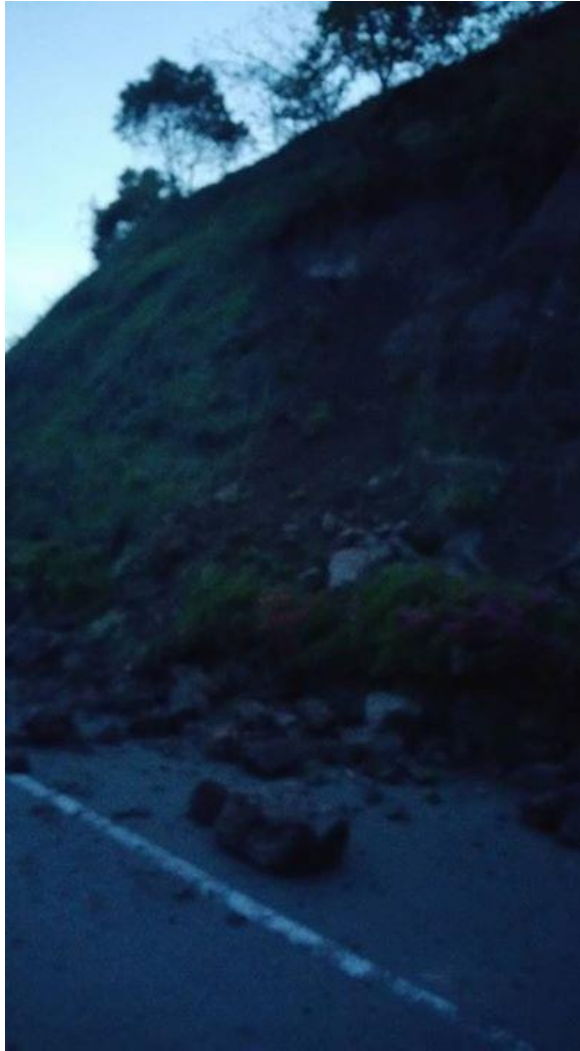
被害総額124,243,640円

【人的被害】

死者ゼロ・負傷者3名（額裂傷、半月板損傷、肋骨骨折）

職員の通勤

被害状況の確認





水・食料枯渇

水の確保（男性スタッフの活躍）

片道1時間半から2時間（普段なら40分）かけて吉無田水源へ水汲み
ありったけのタンクをかき集め、足りないものは買い足した。
（購入制限あり）



町から支援を受けられるはずがない

御船町からのお願い

御船町では、現在物資が不足しています。

飲料水、食料（調理せずに食べられるもの）、ブルーシート、毛布、トイレットペーパー、ティッシュ、ウエットティッシュ、ボディーシート（体拭き）や生活用品などが足りません。どうか、皆さまのご協力をお願いします

御船町長 藤木正幸

2016.04.17 御船町公式facebookより

情報発信

避難者は四百人を越えた。だが、カミ（紙）トイ

（荒井六貴）

「あと三日 食料枯渇」

「米・水・保存食 HELP」。熊本県御船町の老人総合福祉施設「グリーンヒルみふね」では、駐車場に白いラッカーズプレートで大きな字を書いた。

人がいるが、町から届いたのはペットボトルの水が九箱だけ。吉本洋施設長（右）は「あと三日で食料が枯渇しそう」と語った。だが、町にも余裕はない。藤木正幸町長は十六日

夕、フェイスブック（FB）で「町には緊急物資が何一つ入ってきません。町民は水分補給もできずに飢えと戦っています」と訴えた。

その後には届いた支援物資

園田唯代さん（右）は「ぎり一個とアイス一個給されたが、子どもがかすかしている」。別の女性（左）は「並

も全員に行き渡らなま、配給が終わってう。朝からパン二個しべていない」。この避難は断水しており、トイレで困るだけという

- ①グラウンドにパイプ椅子を並べてつくられた「SOS」や水、パンなどの文字=17日午後、熊本市中央区の熊本国府高で、本社へ「まなづる」から
- ②老人総合福祉施設の駐車場に書かれた「米・水・保存食 HELP」の文字=17日正午、熊本県御船町で



熊本県御船町の老人総合福祉施設「グリーンヒルみふね」

放送後、支援物資がぞくぞくと全国から集まる



連携

他事業所の受け入れ開始



14日の地震で被災した2事業所（甲佐町、御船町）

一般の避難者を受け入れつつ、他事業者より連絡がある。
条件付き（避難されてくる方の状態がわかる方を一緒をお願いしたい・・・）**受け入れを決断**

地域交流センターへ泊まって頂くことに・・・。

他事業所との共同生活の開始

職員のストレス

生活再建

精神状態極限（10日目～）



おはようございます。（・・・中略）ハッと目がさめると余震だった。（・・・省略）

今はどこまでこの生活が続くのか？いつ、元の生活に戻ることができるのか？

（・・・中略・・・）限りない答えのない生活をどこまで老人総合福祉施設として担うべきなのか？

職員にも家庭がある。

介護保険施設の職員も私も普通の人間だ。特別な人間ではない。

一体、国や県や市町村は何処まで、私たちに役割を求めていくのだろうか・・・。

担うべき役割があまりにも大きすぎて際限ない柔軟な対応にそろそろ現場も悲鳴は上がっている。

愛知ボランティアセンターの支援

4月30日（土）、5月7日（土）、5月14日（土）、5月21日（土）

計4回大型バスにて支援いただく。。。。。

（延べ人数200名うち150名グリーンヒルみふねにて活動）

職員の自宅の片づけ支援→職員が安心して勤務できた！

ご利用者の自宅の片づけ支援→早期に自宅へ戻れた！



※5月末、ボランティアバスは旅行業法に抵触するとの指針を環境庁が打ち出す。7月に入り新ルール検討（参加者が直接バス会社に費用を支払うなど）

職員への支援

- 職員及びご家族の避難受入れ
- 食事の無償配給（炊き出し）
- 自宅の片付けや掃除
- 支援物資の配給
- マッサージの提供
- ストレスケア研修

受援体制

ネットワーク

さまざまな支援が始まる 平成28年5月2日（16日目）



少しずつ入所者の方々の日常生活は
戻りつつある。

5月2日（16日目）

グリーンヒルみふね受け入れ人数 **124名**

一階（デイ・みどりの丘）46名

二階（特養・ショート）78名

ライフラインがすべて回復 5月11日(28日目~)

電気 3日 ガス 14日 水 28日

(電気に関しては、大きめの余震や断続的な余震で、数分停電することはあった)



復興宣言！ 6月1日（50日目～）

いつまでも頼ってばかりられない。職員一丸
となり、復興を誓う
平成28年6月1日（50日目）



起きることがある程度わかったら

対応と対処方法

対策を講じる


起きることがある程度わかったら

行動を決める！

ToDoリストの作成

【 】のToDoリスト (地震)

	項目	完了	
		異常なし	あり
1	ご利用者の安否（ケガ等）		
2	職員安否（自分自身のケガ等）		
3	災害情報（震源地・震度・地震規模・津波等）の収集		
4			
5			
6			
7			
8			



障害福祉サービス事業所等における
自然災害発生時の

業務継続ガイドライン

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部

令和3年3月

●本ガイドラインで定めるサービス

○入所・入居系サービス：施設入所支援、療養介護、共同生活援助、福祉型障害児入所施設、医療型障害児入所施設

○通所系サービス：生活介護、自立訓練（機能訓練）、自立訓練（生活訓練）、
就労移行支援、就労継続支援 A 型、就労継続支援 B 型、就労定着支援、児童発達支援、
医療型児童発達支援、放課後等デイサービス

○訪問系サービス：居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護、重度障害者等包括支援、
保育所等訪問支援、居宅訪問型児童発達支援

○相談系サービス：地域相談支援、計画相談支援、障害児相談支援

- 「短期入所」については、「通所系」の対応を基本としつつ、必要に応じて「入所・入居系」を参考とすること。
- 「自立生活援助」「相談系サービス」については、「訪問系」の対応を参考とすること。

感染症や災害が発生した場合であっても、
必要な介護サービスが継続的に提供できる
体制を構築する観点から、

全ての介護サービス事業者を対象に

- ・ 業務継続に向けた計画等の策定

- ・ 研修の実施

- ・ 訓練（シミュレーション）の実施等

を義務づける。 + 地域との連携

2-2. 障害福祉サービス事業所等における業務継続計画（BCP）について

BCP とは「平常時の対応」「緊急時の対応」の検討を通して、①事業活動レベルの落ち込みを小さくし、②復旧に要する時間を短くすることを目的に作成された計画書です。

障害福祉サービス事業所等では災害が発生した場合、一般に「建物設備の損壊」「社会インフラの停止」「災害時対応業務の発生による人手不足」などにより、利用者へのサービス提供が困難になると考えられています。

一方、利用者の多くは日常生活・健康管理、さらには生命維持の大部分を障害福祉サービス事業所等の提供するサービスに依存しており、サービス提供が困難になることは利用者の生活・健康・生命の支障に直結します。

上記の理由から、他の業種よりも障害福祉サービス等はサービス提供の維持・継続の必要性が高く、BCP 作成など災害発生時の対応について準備することが求められます。

①被害を最小限に止める

②いかに早く復旧させるか

2-3. 防災計画と自然災害 BCP の違い

防災計画を作成する主な目的は、「身体・生命の安全確保」と「物的被害の軽減」ですが、その目的は、BCP の主な目的の大前提となっています。つまり、BCP では、防災計画の目的に加えて、優先的に継続・復旧すべき重要業務を継続する、または、早期復旧することを目指しており、両方の計画には共通する部分もあり密接な関係にあります。

防災計画と自然災害 BCP の違い①

	防災計画	BCP
主な目的	<ul style="list-style-type: none">・身体、生命の安全確保・物的被害の軽減	<ul style="list-style-type: none">・身体、生命の安全確保に加え、優先的に継続、復旧すべき重要業務の継続または早期復旧
考慮すべき事象	<ul style="list-style-type: none">・拠点がある地域で発生することが想定される災害	<ul style="list-style-type: none">・自社の事業中断の原因となり得るあらゆる発生事象
重要視される事象	<ul style="list-style-type: none">・以下を最小限にすること<ul style="list-style-type: none">➢ 「死傷者数」➢ 「損害額」・従業員等の安否を確認し、被害者を救助・支援すること・被害を受けた拠点を早期復旧すること	<ul style="list-style-type: none">・左記に加え、以下を含む<ul style="list-style-type: none">➢ 重要業務の目標復旧期間・目標復旧レベルを達成すること➢ 経営及び利害関係者への影響を許容範囲内に抑えること➢ 利益を確保し企業として生き残ること
活動、対策の検討範囲	<ul style="list-style-type: none">・自社の拠点ごと	<ul style="list-style-type: none">・全社的（拠点横断的）・依存関係にある主体（委託先、調達先、供給先）



リスク

つまり、従来の防災計画に、避難確保、障害福祉サービスの継続、地域貢献を加えて、総合的に考えてみるのが重要です。

① 様々な計画を整理する

② 研修や訓練を統合する

ミニマムを知る

福祉の専門知識

防災の専門知識

計画策定の専門知識

マネジメント力

どうやってBCPを作るの？



作成の目的化？

災害をどうやって乗り切るのか？

自然災害（地震・水害等）BCPのフローチャート

1. 総論

（1）基本方針

（2）推進体制

（3）リスクの把握

- ①ハザードマップなどの確認
- ②被災想定

（4）優先業務の選定

- ①優先する事業
- ②優先する業務

（5）研修・訓練の実施 BCPの検証・見直し

- ①研修・訓練の実施
- ②BCPの検証・見直し

2. 平常時の対応

（1）建物・設備の安全対策

- ①人が常駐する場所の耐震措置
- ②設備の耐震措置
- ③水害対策

（2）電気が止まった場合の対策

- ①自家発電機が設置されていない場合
- ②自家発電機が設置されている場合

（3）ガスが止まった場合の対策

（4）水道が止まった場合の対策

- ①飲料水
- ②生活用水

（5）通信が麻痺した場合の対策

（6）システムが停止した場合の 対策

（7）衛生面（トイレ等）の対策

- ①トイレ対策
- ②汚物対策

（8）必要品の備蓄

- ①在庫量、必要量の確認

（9）資金手当て

3. 緊急時の対応

（1）BCP発動基準

（2）行動基準

（3）対応体制

（4）対応拠点

（5）安否確認

- ①利用者の安否確認
- ②職員の安否確認

（6）職員の参集基準

（7）施設内外での 避難場所・避難方法

（8）重要業務の継続

（9）職員の管理（ケア）

- ①休憩・宿泊場所
- ②勤務シフト

（10）復旧対応

- ①破損個所の確認
- ②業者連絡先一覧の整備
- ③情報発信

【通所系・固有事項】

【訪問系・固有事項】

【相談支援事業・固有事項】

4. 他施設との連携

（1）連携体制の構築

- ①連携先との協議
- ②連携協定書の締結
- ③地域のネットワーク等の
構築・参画

（2）連携対応

- ①事前準備
- ②入所者・利用者情報の整理
- ③共同訓練

5. 地域との連携

（1）被災時の職員派遣

（2）福祉避難所の運営

- ①福祉避難所の指定
- ②福祉避難所開設の事前準備

一人ひとりが自分の問題として捉える



災害対応力がUPする

減災教室

減災教室

一般向け

編著：岐阜大学教授高木朗義 企画：一般社団法人 Do It Yourself 協力：岐阜県教育委員会

【一般向け2】

まず ○△×で
回答



次に ○ _____ 個 × 5 = _____ 点
△ _____ 個 × 2 = _____ 点

合計

_____ 点



最後に やろうと思った項目の
[いつやるか]に○印で回答

地震から命を守る

Q 設問	○△×	いつやるか
Q1 自宅や勤務地(または学校)周辺における地震の危険性をハザードマップで確かめていますか?		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年
Q2 自宅の耐震性は確保されていますか?		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年
Q3 自宅でよく過ごす場所(寝室・居間・台所)の家具は転倒防止されていますか?		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年
Q4 重い家具や本棚が倒れてこない所、照明やガラスが割れて落ちてこない所に、自分や家族は寝ていますか?		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年
Q5 揺れた瞬間や緊急地震速報が流れた際、頭を中心に身を守る動作を取っていますか?		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年
Q6 海の近くに出かけて(暮らして)大きな揺れがあった際、誰も避難してなくても、率先して高台に避難できますか?		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年

風水害・土砂災害から命を守る情報収集や判断

Q 設問	○△×	いつやるか
Q11 自宅や勤務地(または学校)周辺における風水害や土砂災害の危険個所をハザードマップで確かめていますか?		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年
Q12 自宅や勤務地(または学校)周辺における風水害や土砂災害の危険個所を自分の目で確かめていますか?		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年
Q13 水平避難・垂直避難・待避を理解した上で、風水害や土砂災害が発生しそうな時の一時的な避難場所と避難方法を決めていますか?		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年
Q14 行政の避難情報にかかわらず、自分や家族で避難を判断するために、降雨状況や河川水位などの情報を自ら見ていますか?		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年
Q15 道路が浸水しており、一時的な避難場所へ移動する方が危険な場合、自宅などで過ごす準備ができていますか?		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年
Q16 風水害や土砂災害の対策について、家族で話し合っていますか?		今 1 1 1 週 か 日 間 月 年

初級コース START

個人や家族を対象とした、20 問のコースです。まずは自分の実力と課題を理解しましょう。

中級コース START

住民組織の役員、地域や職場の防災担当者、初級コースからより進めたい方を対象とした、30 問のコースです。地域や職場で何ができるか探してみましよう。

福祉施設コース START

設問作成：NPO法人 高齢者住まいる研究会

福祉施設に関わる方を対象としたコースです。施設の環境を見直し、対策を考えましよう。

福祉施設コース(中級) START

設問作成：NPO法人 高齢者住まいる研究会

福祉施設の責任者や経営者などの方を対象としたコースです。災害に備えた施設となる方法を考えましよう。

3 - 1. BCP 作成のポイント

< 4 > 計画を実行できるよう普段からの周知・研修、訓練

- BCP は、作成するだけでは実効性があるとは言えません。危機発生時においても迅速に行動が出来るよう、関係者に周知し、平時から研修、訓練（シミュレーション）を行う必要があります。また、最新の知見等を踏まえ、定期的に見直すことも重要です。

2-4. 障害福祉サービス事業者に求められる役割

■ 利用者の安全確保

障害福祉サービスの利用者の中には、相対的に体力が弱い障害者もいます。自然災害が発生した場合、深刻な人的被害が生じる危険性があるため、「利用者の安全を確保すること」が最大の役割です。そのため、「利用者の安全を守るための対策」が何よりも重要となります。

■ サービスの継続

障害福祉サービス事業者は、利用者の健康・身体・生命を守るための必要不可欠な責任を担っています。したがって、入所・入居系サービスにおいては自然災害発生時にも業務を継続できるよう事前の準備を入念に進めることが必要です。入所・入居系サービスは利用者に対して「生活の場」を提供しており、たとえ地震等で施設が被災したとしても、サービスの提供を中断することはできないと考え、被災時に最低限のサービスを提供し続けられるよう、自力でサービスを提供する場合と他へ避難する場合の双方について事前の検討や準備を進めることが必要となります。

また、通所事業所や訪問事業所においても極力業務を継続できるよう努めるとともに、万一業務の縮小や事業所の閉鎖を余儀なくされる場合でも、利用者への影響を極力抑えるよう事前の検討を進めることが肝要です。

2-4. 障害福祉サービス事業者に求められる役割

■ 職員の安全確保

自然災害発生時や復旧において業務継続を図ることは、長時間勤務や精神的打撃など職員の労働環境が過酷にあることが懸念されます。したがって、労働契約法第5条（使用者の安全配慮義務）の観点からも、職員の過重労働やメンタルヘルス対応への適切な措置を講じることが使用者の責務となります。

労働契約法第5条

使用者は、労働契約に伴い、労働者がその生命、身体等の安全を確保しつつ労働することができるよう、必要な配慮をするものとする

■ 地域への貢献

障害福祉サービス事業者の社会福祉施設としての公共性を鑑みると、施設が無事であることを前提に、施設がもつ機能を活かして被災時に地域へ貢献することも重要な役割となります。

2-3. 防災計画と自然災害 BCP の違い

防災計画を作成する主な目的は、「身体・生命の安全確保」と「物的被害の軽減」ですが、その目的は、BCP の主な目的の大前提となっています。つまり、BCP では、防災計画の目的に加えて、優先的に継続・復旧すべき重要業務を継続する、または、早期復旧することを目指しており、両方の計画には共通する部分もあり密接な関係にあります。

防災計画と自然災害 BCP の違い①

	防災計画	BCP
主な目的	<ul style="list-style-type: none">・身体、生命の安全確保・物的被害の軽減	<ul style="list-style-type: none">・身体、生命の安全確保に加え、優先的に継続、復旧すべき重要業務の継続または早期復旧
考慮すべき事象	<ul style="list-style-type: none">・拠点がある地域で発生することが想定される災害	<ul style="list-style-type: none">・自社の事業中断の原因となり得るあらゆる発生事象
重要視される事象	<ul style="list-style-type: none">・以下を最小限にすること<ul style="list-style-type: none">➢ 「死傷者数」➢ 「損害額」・従業員等の安否を確認し、被害者を救助・支援すること・被害を受けた拠点を早期復旧すること	<ul style="list-style-type: none">・左記に加え、以下を含む<ul style="list-style-type: none">➢ 重要業務の目標復旧期間・目標復旧レベルを達成すること➢ 経営及び利害関係者への影響を許容範囲内に抑えること➢ 利益を確保し企業として生き残ること
活動、対策の検討範囲	<ul style="list-style-type: none">・自社の拠点ごと	<ul style="list-style-type: none">・全社的（拠点横断的）・依存関係にある主体（委託先、調達先、供給先）

迅速に行動が出来るよう、関係者に周知
知見等を踏まえ、定期的に見直すことも

つまり、従来の防災計画に、避難確保、障害福祉サービスの継続、地域貢献を加えて、総合的に考えてみるのが重要です。

BCPを関係者へ周知



どこまでが関係者？ どのように？

それを見据えて計画書を作成

周知のカタチを整える→連携が生まれる

選択中の情報

災害種別で選択



洪水

(想定最大規模)



土砂災害



高潮

(想定最大規模)



津波

(想定最大規模)



道路防災情報



地形分類

掲載データに関する留意事項

すべての情報から選択

検索結果:5件中5件表示 協力:東大CSIS

都道府県

市区町村



大津市役所
滋賀県大津市



滋賀県大津市
滋賀県大津市



選択中の情報

災害種別で選択



洪水
(想定最大規模)



土砂災害



高潮
(想定最大規模)



津波
(想定最大規模)

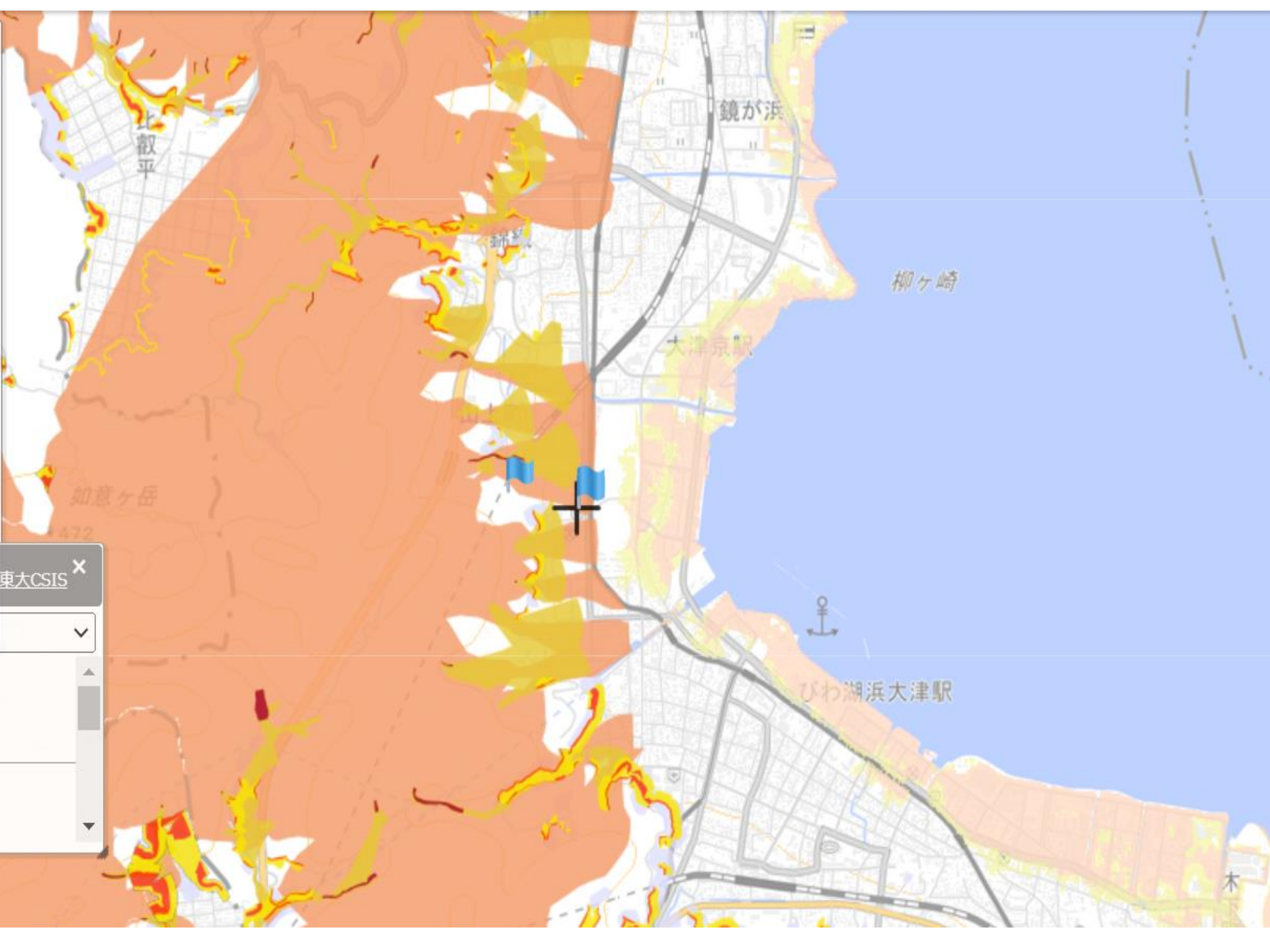


道路防災情報



地形分類

[掲載データに関する留意事項](#)



すべての情報から選択

検索結果: 5件中5件表示 協力: 東大CSIS

都道府県 ▼ 市区町村 ▼

- 
大津市役所
滋賀県大津市
- 
滋賀県大津市
滋賀県大津市

めざせ!
に おく
逃げ遅れゼロ!



しがマイ・タイムライン
オリジナルキャラクター
ゼロットくん

問い合わせ先

滋賀県防災危機管理局

〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号 滋賀県危機管理センター
TEL: 077-528-3432 FAX: 077-528-6037

しがマイ・タイムライン第1版(令和3年11月作成)

「東京マイ・タイムライン」を出典元資料として作成
実際の災害時には、必ずしも本書子掲載のとおりになるとは限りません。

しがマイ・ タイムライン をつくらう。

しがマイ・タイムラインってなに?

- 一人ひとりに合った避難の準備から避難完了までの行動計画が、マイ・タイムラインです。
- 大雨や台風の発生は事前に予測できるので、あらかじめマイ・タイムラインを作っておくと、余裕を持った避難行動につながります。
- ぜひ、家族や地域の方と話し合いながら、マイ・タイムラインを作って、自分や家族の命を風水害から守りましょう。

しが けん
滋 賀 県

3 避難のために必要な物を準備しよう! [P6]

1 家族や身近な人と避難のために必要な物を準備しよう!

必ず必要な物	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 保険証・免許証 <input type="checkbox"/> 預金通帳のコピー
避難生活のために必要な物	<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 食料 <input type="checkbox"/> 下着・衣類 <input type="checkbox"/> 靴 <input type="checkbox"/> 寝袋 <input type="checkbox"/> ティッシュ・タオル類 <input type="checkbox"/> ライター・マッチ・ロウソク
安全・安心・情報収集のために必要な物	<input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 電池の予備 <input type="checkbox"/> 手回しラジオ <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー・充電器
健康管理のために必要な物	<input type="checkbox"/> お薬 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 消毒液 <input type="checkbox"/> 救急セット <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> お薬手帳 <input type="checkbox"/> 健康(管理)手帳
他にあなたにとって必要な物	具体例：病気や障害についてわかるもの(医療受給者証や障害者手帳など)
あると便利な物	<input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> カイロ <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> ポリ袋・レジャーシート



- POINT.1**
- 避難時にすぐ持ち出せて、両手を使えるリュックなどの持ちやすいかばんに詰めておきましょう!
 - 非常持ち出し品は、すぐに持ち出せるように寝る場所の近くや玄関先に置いておきましょう!
 - 自宅で避難する場合でも、電気や水道などのライフラインが長期間使用できなくなるかもしれないから、食料や水、カセットコンロなどを備えておきましょう!

2 家族や身近な人と緊急時の連絡先を確認しよう!

名前	連絡先(電話番号など)

名前

しがマイ・タイムライン

災害リスク確認シート

1 自宅の災害リスクを確認しよう! [P3]

災害リスクを調べるには、次のどちらの方法でも確認できます。

POINT.1



滋賀県
防災情報マップを
チェック!

POINT.2

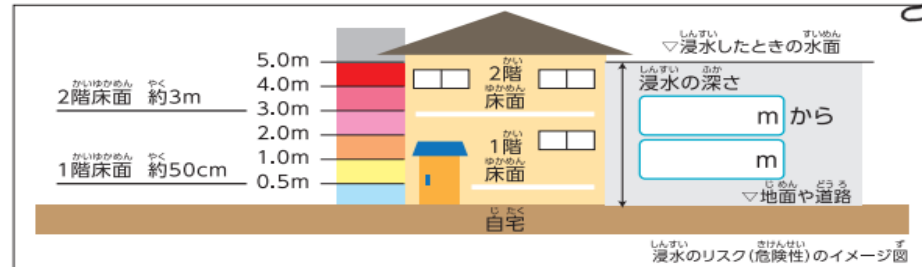
自宅がある
市・町の
ハザードマップ

1 自宅は、大雨のときに浸水のリスクがありますか?

地図上の自宅の色 色 ある ない

浸水の深さ m から m

白色以外が
塗ってあると、
浸水のリスクが
あるよ!



注意 市町によって色が異なる場合があります。

2 自宅は、土砂災害のリスクがありますか?

地図上の自宅の色は、

黄色に塗ってある(土砂災害警戒区域(通称イエローゾーン))

赤色に塗ってある(土砂災害特別警戒区域(通称レッドゾーン))

茶色の斜線がかかっている(土砂災害危険箇所)

白色

ある ない

土砂災害の
リスクも確認
しておこう!



2 避難する場所とその災害リスクを確認しよう! P5

表が埋まるように、避難する場所を考えて、調べよう!

	候補1	候補2	候補3
1	あなたの避難する場所はどこですか?		
	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 避難場所() <input type="checkbox"/> 親戚・知人の家 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 避難場所() <input type="checkbox"/> 親戚・知人の家 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 避難場所() <input type="checkbox"/> 親戚・知人の家 <input type="checkbox"/> その他()
2	避難する場所は、浸水や土砂災害のリスクがありますか?		
浸水のリスク	地図上の色 <div style="text-align: right;">色</div> 浸水の深さ mから m	地図上の色 <div style="text-align: right;">色</div> 浸水の深さ mから m	地図上の色 <div style="text-align: right;">色</div> 浸水の深さ mから m
土砂災害のリスク	<input type="checkbox"/> 黄色に塗ってある <input type="checkbox"/> 赤色に塗ってある <input type="checkbox"/> 茶色の斜線がかかっている -----> <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 白色 -----> <input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> 黄色に塗ってある <input type="checkbox"/> 赤色に塗ってある <input type="checkbox"/> 茶色の斜線がかかっている -----> <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 白色 -----> <input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> 黄色に塗ってある <input type="checkbox"/> 赤色に塗ってある <input type="checkbox"/> 茶色の斜線がかかっている -----> <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 白色 -----> <input type="checkbox"/> ない
3	避難の方法は?		
	<input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 自動車 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 自動車 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 自動車 <input type="checkbox"/> その他()
4	自宅から避難する場所まで何分くらいかかりますか?		
	<input type="checkbox"/> 10分以内 <input type="checkbox"/> 10分~30分 <input type="checkbox"/> 30分以上	<input type="checkbox"/> 10分以内 <input type="checkbox"/> 10分~30分 <input type="checkbox"/> 30分以上	<input type="checkbox"/> 10分以内 <input type="checkbox"/> 10分~30分 <input type="checkbox"/> 30分以上

5 自宅から避難する場所までに、浸水や土砂災害のリスクがありますか?

- ある -----> 安全な別の道を考えてみよう!
 ない

6 自宅から避難する場所までの地図をかこう!

災害リスクがある場合、別の避難する場所を考え直そう!

じっさいに出かけてみよう!



時間軸 (目安)	3日前～	1日前～	数時間前～	～2時間程度前	0時間
-------------	------	------	-------	---------	-----

避難情報	自主避難など注意の呼びかけ	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保	
警戒レベル	1	2	3	4	5

自分たちで決めた
避難スイッチ

行く 動	私と家族	<div data-bbox="1974 421 2204 606" data-label="Text"> <p>警戒レベル4 までに 危険な場所から 全員避難して おこつ!</p> </div>
	(地域)	



災害発生

避難する場所	候補1	候補2	候補3	逃げられない時
--------	-----	-----	-----	---------

滋賀県で起こりやすい 風水害を知ろう!

滋賀県で起こりやすい風水害って何?

- 風水害とは、雨や風により発生する災害です。
- 滋賀県は山地、なだらかな土地、平らな土地、大きな川、小さな川など、多様な地形があるため、様々な風水害が発生するおそれがあります。
- 滋賀県で起こりやすい風水害は、大きく4種類です。

●土砂災害

山や谷、がけから土砂が押し寄せること

●滋賀県の土砂災害リスク

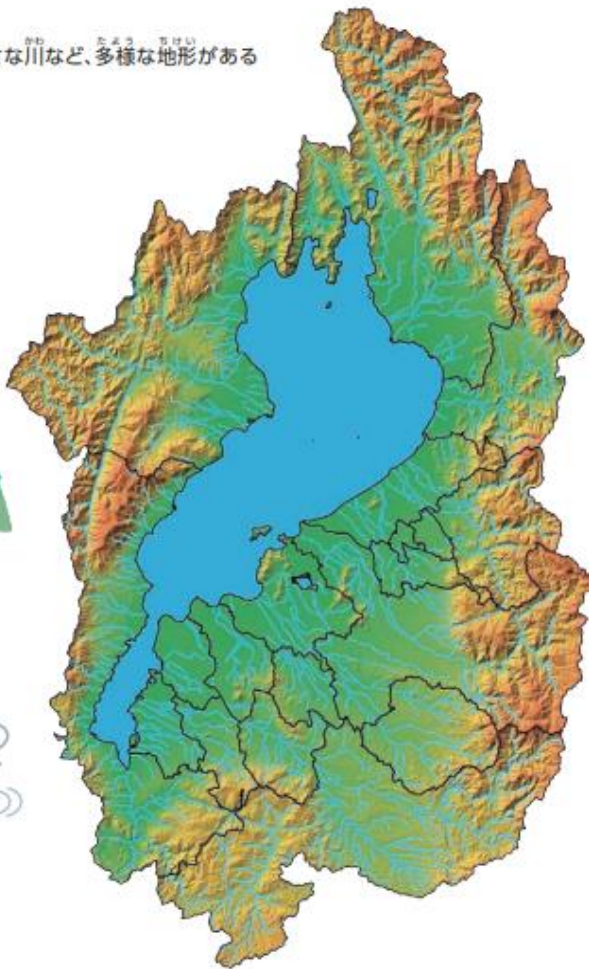
滋賀県には、土砂災害のおそれがあると想定される箇所が約7,000箇所あります。山の近くまで住宅が広がっている地域もあるため、土砂災害への警戒が必要です。



●風害

強風や竜巻の発生によって被害が生じること

強風や竜巻により、建物に被害が出たり、樹木などが倒れて電気などのライフラインが被害を受けたり、道路が寸断されて集落が孤立したりするおそれがあります。



滋賀県は多様な地形があるから
様々な風水害が発生するおそれがあるよ!



正しく知って、正しく備えよう!

●河川や水路の氾濫

川の堤防が決壊したり、川から水があふれたりすること

●滋賀県に流れる河川

滋賀県には、509本の一級河川が流れており、うち117河川が琵琶湖に流れ込んでいます。(流路延長は約2,320km)



大雨の時には、身近な水路などから水があふれ出し、浸水被害が発生するおそれがあります。また、大きな河川が氾濫すると、家が流されたり、広い範囲で浸水被害が発生したりするおそれがあります。

●天井川の災害リスク

水源山地からの土砂流出が多く、下流域で堆積されたことで、多くの天井川が形成されています。天井川は河床が周辺の土地よりも高くなっているので、堤防が決壊してしまうと川の水が勢いよく周辺の土地に流れ込んでしまいます。



天井川のイメージ

●琵琶湖の氾濫

琵琶湖から水があふれること

●琵琶湖と河川

117河川が琵琶湖に流れ込むのに対し、琵琶湖から流れ出す川は、瀬田川の1本のみです。大雨が長時間降り続けると、琵琶湖の水位が上がり、湖岸の近くが浸水するおそれがあります。



河川の氾濫とは？

- 大雨で川の水位が上がって、堤防の高さを越えたり、堤防が壊れたりして、水があふれる現象です(これを外水氾濫といいます)。
- 街中でよく見られる小さな川と、河川敷にグラウンドがあるような大きな川では、流域の広さが異なるため、被害の大きさや、氾濫までの時間が違います(降った雨が川に集まる区域を流域といいます)。
- 川の下流で雨が降っていなくても、速く離れた上流で雨が降ると、川の水位が上がるので、注意が必要です。

街中でよく見られる小さな川

①晴れている



川底が見えるくらいの水で、さらさらと流れています。

②雨が降り始める



降り始めるとすぐににごって川底が見えなくなり、流れが速くなります。

③さらに、雨が降り続く



狭い流域から水が一気に集まるため、家が建っている地面の高さまで水位が急が上がります。

④川から水があふれる



提供：前掲

【河川の氾濫の状況】
川の近くで浸水します。

河川敷にグラウンドがあるような大きな川(野洲川、白野川など)

①晴れている



大きな川の一部にのみ流れています。

②雨が降り始める



降り始めてから時間がたつにつれて、少しずつ水位が上がります。

③さらに長い時間、強い雨が降り続く



広い流域から水が集まるため水位がゆっくりと堤防の上の付近まで上がります。

④川から水があふれる



提供：滋賀県

【河川の氾濫の状況】
広い範囲で浸水します。
雨が止んでも浸水が長く続きます。

天井川とは？

- 河床が川のまわりの土地よりも高くなっている川を「天井川」といいます。
- 堤防が壊れた時には、川の水が勢いよく流れ出します。



天井川のイメージ

内水氾濫とは？

- 豪雨が发生时、雨水の量が身近な水路等の排水能力を超えたとき、街中などが浸水することがあります。
- 道路が水に浸かっていると、足元の状況が分からず、ふたが外れたマンホールや側溝に落ちてしまう危険性があるので、歩かないようにしましょう。また、道路が水に浸かっていると、エンジンが止まって動けなくなるおそれがあるので、車での避難にも注意しましょう。

街中の水路

①晴れている



普段はわずかな水量が流れています。

②雨が降り始める



降り始めるとすぐに水量が増えにぎった水が流れ出します。

③さらに、雨が降り続く



小さな側溝などで水があふれ出します。

④街中が浸水する



提供：滋賀県、熊笹

【街中の浸水状況】

普段は水害が起こらないように見える街中でも浸水します。

琵琶湖の氾濫とは？

- 大雨が降った後、琵琶湖の水位が上がり、湖岸の近くや干拓地などで浸水する現象です。
- 川の氾濫と違い、時間差で水位が上がるので注意が必要です。
- 琵琶湖から流れ出す川は、瀬田川の1本のみなので、浸水してしまうと水が引くまでに時間がかかります。

琵琶湖の近く

①晴れている



琵琶湖は季節に応じて、一定の水位以下に下げられています。

②雨が降り始め、大雨となる



降り始めてから、少しずつ川の水が流れ込みます。

③雨が降りやむ



雨が止んでも琵琶湖に水が集まり、時間の経過とともに水位が上がります。

④琵琶湖の水位が上がり浸水する



提供：滋賀県

【琵琶湖の氾濫の状況】

大雨が終わり川の水位が下がったあとに時間差で琵琶湖の水位が上がり、湖岸付近が浸水します。すぐには、水位が下がりません。

土砂災害とは？

- 大雨によって、山や谷、がけが崩れて、土砂が押し寄せてくる現象です。
- しみ込んだ雨水が多くなるほど、地面は柔らかくなって崩れやすくなります。
- 土砂災害には、土石流、がけ崩れ、地すべりの3種類の現象があります。

土石流とは？



山や谷の土砂が大雨などで崩れ、水と一体となって、一気に下流へ流れ出す現象です。

がけ崩れとは？



雨や地震などの影響で、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。

地すべりとは？



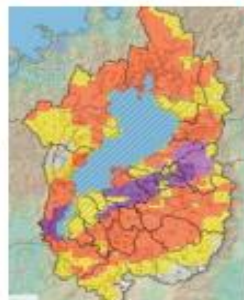
地下水などの影響で、斜面の土が一体となってすべり落ちる現象です。

- 土砂災害の起こりやすさは、雨の水が地面にしみ込む度合いによって変わりますが、川の水位のように、目で見て判断することは難しいです。
- 大雨が降っているときは、「土砂災害降雨危険度マップ」を見て、家の近くがどれくらい土砂災害が起こりやすいか、確かめてみましょう。
- 「土砂災害降雨危険度」が紫色になっていたなら、いつ土砂災害が起きてもおかしくないで、山や斜面の近くに家がある場合は、早めの避難を考えましょう。

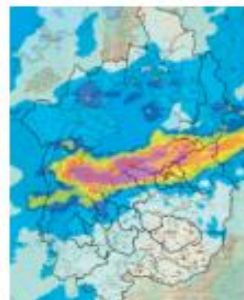


土砂災害降雨危険度マップ

黄	注意
赤	警戒
薄紫	非常に危険
濃紫	極めて危険



土砂災害降雨危険度



降雨の状況(XRAIN)

令和3年8月14日の状況

谷の出口の近く

①晴れている



谷の上流の地面が乾いています。

②さらに雨が降り続く



山鳴りがする、急に川の水がにごる、腐った土の臭いがするなどの前ぶれがあります。

①雨が降り始める



降り始めると、雨水が地面にしみ込んでいきます。

②土石流が流れ下る



【土石流の状況】

水と土砂が一体となって流れ下ります。

提供：滋賀県

がけの近く

①晴れている



斜面やがけの地面が乾いています。

②さらに雨が降り続く



斜面やがけの地面が柔らかくなり、小石がばらばらと落ちる、斜面から水が噴き出す、地鳴りがするなどの前ぶれがあります。

①雨が降り始める



降り始めると、雨水が地面にしみ込んでいきます。

②斜面やがけが崩れる



【がけ崩れの状況】

住宅近くの斜面が崩れ、土砂が流出します。

提供：滋賀県

ハザード確認シート

確認項目	確認済	具体的なハザード	安全度※
事業所（の立地）	<input type="checkbox"/>	洪水浸水想定区域	
	<input type="checkbox"/>	土砂災害	
	<input type="checkbox"/>	津波災害警戒区域	
	<input type="checkbox"/>	建物の耐震性・液状化、火災延焼等	
想定避難先	<input type="checkbox"/>	洪水浸水想定区域	
	<input type="checkbox"/>	土砂災害	
	<input type="checkbox"/>	津波災害警戒区域	
	<input type="checkbox"/>	建物の耐震性・液状化、火災延焼等	
職員の自宅	<input type="checkbox"/>	洪水浸水想定区域	
	<input type="checkbox"/>	土砂災害	
	<input type="checkbox"/>	津波災害警戒区域	
	<input type="checkbox"/>	建物の耐震性・液状化、火災延焼等	
	<input type="checkbox"/>	洪水浸水想定区域	
	<input type="checkbox"/>	土砂災害	

ご利用者の自宅	<input type="checkbox"/>	洪水浸水想定区域	
	<input type="checkbox"/>	土砂災害	
	<input type="checkbox"/>	津波災害警戒区域	
	<input type="checkbox"/>	建物の耐震性・液状化、火災延焼等	
職員の通勤ルート	<input type="checkbox"/>	洪水浸水想定区域	
	<input type="checkbox"/>	土砂災害	
	<input type="checkbox"/>	津波災害警戒区域	
	<input type="checkbox"/>	橋梁・液状化等	
訪問・送迎ルート	<input type="checkbox"/>	洪水浸水想定区域	
	<input type="checkbox"/>	土砂災害	
	<input type="checkbox"/>	津波災害警戒区域	
	<input type="checkbox"/>	橋梁・液状化等	
関係介護サービス事業所	<input type="checkbox"/>	洪水浸水想定区域	
	<input type="checkbox"/>	土砂災害	
	<input type="checkbox"/>	津波災害警戒区域	
	<input type="checkbox"/>	建物の耐震性・液状化、火災延焼等	
外部関係事業者 (委託先・調達先・供給先等)	<input type="checkbox"/>	洪水浸水想定区域	
	<input type="checkbox"/>	土砂災害	
	<input type="checkbox"/>	津波災害警戒区域	
	<input type="checkbox"/>	建物の耐震性・液状化、火災延焼等	

BCPを関係者へ周知



どこまでが関係者？ どのように？

それを見据えて計画書を作成

周知のカタチを整える→連携が生まれる

【 】のToDoリスト (地震)

	項目	完了	
		異常なし	あり
1	ご利用者の安否（ケガ等）		
2	職員安否（自分自身のケガ等）		
3	災害情報（震源地・震度・地震規模・津波等）の収集		
4	避難行動をとる 安全な場所への移動（建物内）（建物外）		
5	出勤職員及びそのご家族の安否と被害状況の把握		
6	ご利用中の方のご家族へ連絡		
7	参集依頼を行う		
8	利用者の見守り・トイレ誘導・水分補給等		
9	行政への連絡（第1報）		
10	ケガ人・体調不良者の手当や搬送		

3. 自然災害BCPの作成、運用のポイント

3-1. BCP作成のポイント

<1> 正確な情報集約と判断ができる体制を構築

- 災害発生時の迅速な対応には、平時と緊急時の情報収集・共有体制や、情報伝達フロー等の構築がポイントとなります。そのためには、全体の意思決定者を決めておくこと、各業務の担当者を決めておくこと（誰が、何をするか）、関係者の連絡先、連絡フローの整理が重要です。

大地震発生時の行動を決める

風水害予想段階からの行動を決める

あらゆるリスクを考える（繰り返し）

(2) 行動基準

発生時の個人の行動基準を記載する。

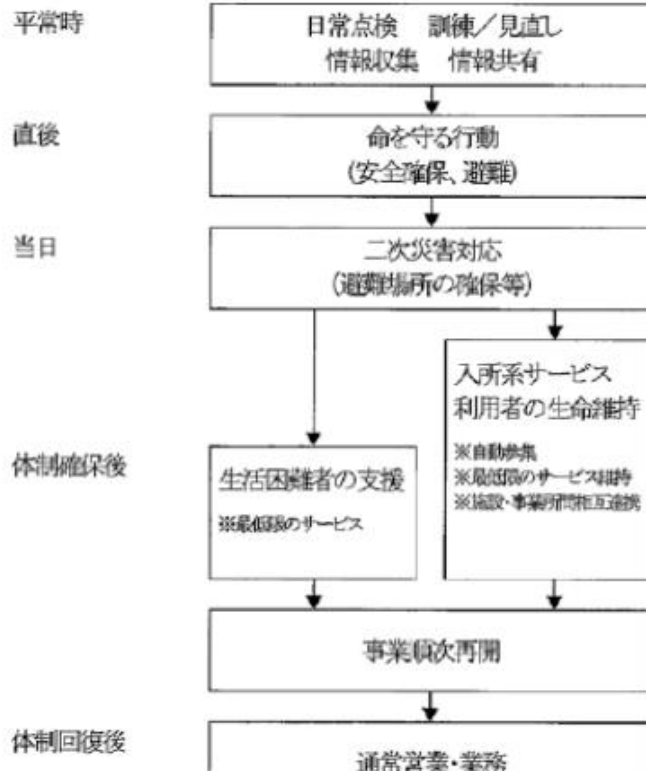
- ・ 行動基準は安否確認方法、参集基準、各種連絡先等の必要な事項を『携帯カード』に整理して、職
るよう運営すると効果的である。

(記載例)

3. 1. 2 災害発生時時の行動指針

災害発生時の行動指針は次のとおりとする。

- ① 自身及び利用者(在宅時は家族)の安全確保
- ② 二次災害への対策(火災、建物倒壊など)
- ③ 入所系サービス利用者の生命維持
- ④ 法人内施設間の連携と外部機関との連携
- ⑤ 情報発信



- 情報収集
- 支援体制確保(人員、物資等)
- 情報共有
- 連携
 - ・施設・事業所間連携
 - ・行政連携
 - ・取引先協力依頼
 - ・他法人連携
- 情報発信
 - ・利用者家族安否情報
 - ・施設・事業所情報

3. 緊急時の対応

(1) BCP発動基準

(2) 行動基準

(3) 対応体制

(4) 対応拠点

(5) 安否確認

- ①利用者の安否確認
- ②職員の安否確認

(6) 職員の参集基準

(7) 施設内外での 避難場所・避難方法

(8) 重要業務の継続

(9) 職員の管理(ケア)

- ①休憩・宿泊場所
- ②勤務シフト

(10) 復旧対応

- ①破損個所の確認
- ②業者連絡先一覧の整備
- ③情報発信

3-2-2. 自然災害発生に備えた対応・発生時の対応（通所系・固有事項）

3-2-1で記載した共通事項のほか、通所系サービス固有の事項として留意する点は、以下のとおり。

【平時からの対応】

- ・ サービス提供中に被災した場合に備え、緊急連絡先の把握にあたっては、複数の連絡先や連絡手段（固定電話、携帯電話、メール等）を把握しておくことが望ましい。
- ・ 特定相談支援事業所と連携し、利用者への安否確認の方法等をあらかじめ整理しておく。
- ・ 平常時から地域の避難方法や避難所に関する情報に留意し、地域の関係機関（行政、自治会、職能・事業所団体等）と良好な関係を作るよう工夫することも望まれる。

【災害が予想される場合の対応】

- ・ 台風などで甚大な被害が予想される場合などにおいては、サービスの休止・縮小を余儀なくされることを想定し、あらかじめその基準を定めておくとともに、特定相談支援事業所にも情報共有の上、利用者やその家族にも説明する。その上で、必要に応じ、サービスの前倒し等も検討する。

【災害発生時の対応】

- ・ B C Pに基づき速やかなサービスの再開に努めるが、サービス提供を長期間休止する場合は、特定相談支援事業所と連携し、必要に応じて他事業所の訪問サービス等への変更を検討する。
- ・ 利用中に被災した場合は、利用者の安否確認後、あらかじめ把握している緊急連絡先を活用し、利用者家族への安否状況の連絡を行う。利用者の安全確保や家族への連絡状況を踏まえ、順次利用者の帰宅を支援する。その際、送迎車の利用が困難な場合も考慮して、手段を検討する。帰宅にあたって、可能であれば利用者家族の協力も得る。関係機関とも連携しながら事業所での宿泊や近くの避難所への移送等で対応する。
- ・ 被災により一時的に事業所が使用できない場合は、利用者宅を訪問するなど代替サービスの提供を検討する。

3-2-2. 自然災害発生に備えた対応・発生時の対応（通所系・固有事項）

【平時からの対応】

- ・ サービス提供中に被災した場合に備え、緊急連絡先の把握にあたっては、複数の連絡先や連絡手段（固定電話、携帯電話、メール等）を把握しておくことが望ましい。
- ・ 特定相談支援事業所と連携し、利用者への安否確認の方法等をあらかじめ整理しておく。
- ・ 平常時から地域の避難方法や避難所に関する情報に留意し、地域の関係機関（行政、自治会、職能・事業所団体等）と良好な関係を作るよう工夫することも望まれる。

警戒レベル
4

令和3年5月20日から ひなんしじ 避難指示で必ず避難 ひなんかんこく 避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	 <p>緊急安全確保※1</p>	<p>災害発生情報 (発生を確報したときに発令)</p>
4	 <p>避難指示※2</p>	<p>・避難指示(緊急) ・避難勧告</p>
3	 <p>高齢者等避難※3</p>	<p>避難準備・ 高齢者等避難開始</p>
2	 <p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>	<p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>
1	 <p>早期注意情報 (気象庁)</p>	<p>早期注意情報 (気象庁)</p>

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになりました。
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ避難の行動を見合わせ地めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。**警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません!**

避難勧告は廃止されます。これからは、**警戒レベル4避難指示**で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、**警戒レベル3高齢者等避難**で危険な場所から避難しましょう。

内閣府(防災担当)・消防庁

「避難」って何すればいいの?

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは「難」を「避」けること。下の4つの行動があります。



「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

- 1 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない(入っていると...)
 流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります
 地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります
- 2 浸水深より居室は高い
 3~4階: 5m~10m未満
 2階: 3m~5m未満
 1階: 0.5m~3m未満
 1階以下: 0.5m未満
- 3 水がひくまで強靱で、水・食糧などの備えが十分(十分じゃないと...)
 水、食糧、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります

※1 家屋倒壊等氾濫想定区域や※2 水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合があります。お住いの市町村へお問い合わせください。
 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認して下さい。

3
【災害が...
台風...
か...
その...

事項)
定し、あら
説明する。

3-2-2. 自然災害発生に備えた対応・発生時の対応（通所系・固有事項）

【災害発生時の対応】

- ・ B C Pに基づき速やかなサービスの再開に努めるが、サービス提供を長期間休止する場合は、特定相談支援事業所と連携し、必要に応じて他事業所の訪問サービス等への変更を検討する。
- ・ 利用中に被災した場合は、利用者の安否確認後、あらかじめ把握している緊急連絡先を活用し、利用者家族への安否状況の連絡を行う。利用者の安全確保や家族への連絡状況を踏まえ、順次利用者の帰宅を支援する。その際、送迎車の利用が困難な場合も考慮して、手段を検討する。帰宅にあたって、可能であれば利用者家族の協力も得る。関係機関とも連携しながら事業所での宿泊や近くの避難所への移送等で対応する。
- ・ 被災により一時的に事業所が使用できない場合は、利用者宅を訪問するなど代替サービスの提供を検討する。

3-2-3. 自然災害発生に備えた対応・発生時の対応（訪問系・固有事項）

【平時からの対応】

- ・ サービス提供中に被災した場合に備え、緊急連絡先の把握にあたっては、複数の連絡先や連絡手段（固定電話、携帯電話、メール等）を把握しておくことが望ましい。
- ・ 特定相談支援事業所と連携し、利用者への安否確認の方法等をあらかじめ検討しておく。
- ・ 発災時に、職員は利用者宅を訪問中または移動中であることも想定し、対応中の利用者への支援手順や、移動中の場合における対応方法をあらかじめ検討しておく。
- ・ 避難先においてサービスを提供することも想定され、平常時から地域の避難方法や避難所に関する情報に留意し、地域の関係機関（行政、自治会、職能・事業所団体等）と良好な関係を作るよう工夫することも望まれる。

■ **市区町村が出す警戒レベル3又は警戒レベル4(避難情報)で必ず避難しましょう**
気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に早めの避難をしましょう

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)	
警戒 レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	
				浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保	5 相当	氾濫発生情報 大雨特別警報 (土砂災害)
~~~~~ < 警戒レベル4までに必ず避難! > ~~~~~					
4	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	4 相当	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報
3	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難	3 相当	氾濫警戒情報 洪水警報 大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	2 相当	氾濫注意情報 —
1	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1 相当	— —

市区町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

### 3-2-3. 自然災害発生に備えた対応・発生時の対応（訪問系・固有事項）

#### 【災害発生時の対応】

- ・ サービス提供を長期間休止する場合は、特定相談支援事業所と連携し、必要に応じて他事業所の訪問サービス等への変更を検討する。
- ・ あらかじめ検討した対応方法に基づき、利用者への安否確認等や、利用者宅を訪問中または移動中の場合の対応を行う。
- ・ 特定相談支援事業所や地域の関係機関と連携の上、可能な場合には、避難先においてサービスを提供する。

### 3-2-4. 自然災害発生に備えた対応・発生時の対応（相談支援事業・固有事項）

#### 【平時からの対応】

- ・ 災害発生時、優先的に安否確認が必要な利用者について、あらかじめ検討の上、利用者台帳等において、その情報がわかるようにしておくこと。（利用者台帳等は電子媒体として保存・管理し、災害の状況等に応じて加工できる等活用しやすい環境を整備しておくことや内容の変更がないかを定期的を確認し、適宜更新する体制をとることが望ましい。）
- ・ 緊急連絡先の把握にあたっては、複数の連絡先や連絡手段（固定電話、携帯電話、メール等）を把握しておくことが望ましい。
- ・ 平常時から地域の避難方法や避難所に関する情報に留意し、地域の関係機関（行政、自治会、職能・事業所団体等）と良好な関係を構築する。その上で、災害に伴い発生する、安否確認やサービス調整等の業務に適切に対応できるよう、他の相談支援事業所、障害福祉サービス事業所等、地域の関係機関と事前に検討・調整する。（【参考】を参照。）
- ・ なお、避難先において、薬情報が参照できるよう、利用者に対し、おくすり手帳の持参指導を行うことが望ましい。
- ・ 市町村と連携し、災害時避難行動要支援者である利用者の把握に努めること。また、自治体から依頼があった場合には、個別避難計画策定へ協力すること。個別避難計画、サービス等利用計画や利用者台帳間の情報連携を適切に図ること。

### 3-2-4. 自然災害発生に備えた対応・発生時の対応（相談支援事業・固有事項）

#### 【災害が予想される場合の対応】

- ・ 訪問系サービスや通所系サービス、居住系サービスについて、「台風などで甚大な被害が予想される場合などにおいては、サービスの休止・縮小を余儀なくされることを想定し、あらかじめその基準を定めておく」とされており、利用者が利用する各事業所が定める基準について、事前に情報共有し、把握しておくこと。その上で、必要に応じ、サービスの前倒し等も検討する。
- ・ また、自サービスについても、台風などで甚大な被害が予想される場合などにおいては、休止・縮小を余儀なくされることを想定し、その際の対応方法を定めておくとともに、他の相談支援事業所、障害福祉サービス事業所等、地域の関係機関に共有の上、利用者やその家族にも説明する。

### 3-2-4. 自然災害発生に備えた対応・発生時の対応（相談支援事業・固有事項）

#### 【災害発生時の対応】

- ・ 災害発生時で、事業が継続できる場合には、可能な範囲で、個別訪問等による早期の状態把握を通じ、障害福祉サービス等の実施状況の把握を行い、被災生活により状態の悪化が懸念される利用者に対して、必要な支援が提供されるよう、障害福祉サービス事業所等、地域の関係機関との連絡調整等を行う。  
（例）通所系・訪問系サービスについて、利用者が利用している事業所が、サービス提供を長期間休止する場合は、必要に応じて他事業所の通所系サービスや、訪問系サービス等への変更を検討する。
- ・ また、避難先においてサービス提供が必要な場合も想定され、居宅サービス事業所、地域の関係機関と連携しながら、利用者の状況に応じて、必要なサービスが提供されるよう調整を行う。
- ・ 災害発生時で事業が継続できない場合には、市町村、他の相談支援事業所、障害福祉サービス事業所等、地域の関係機関と事前に検討・調整した対応を行う。

※ 参考資料 災害対応マニュアル【第4版】（令和元年12月1日）（（一社）日本介護支援専門員協会）

よやく!  
氾濫で緊急安全確保 避難のタイミングは?

## 愛知・豊橋市の状況

### 先週金曜日

午前	午後
5:13 <small>気象庁</small> 線状降水帯 予測情報	2:40 <small>豊橋市</small> レベル4 避難指示 柳生川
6:40 <small>豊橋市</small> レベル3 高齢者等避難	3:51 <small>気象庁</small> 線状降水帯 発生情報
6:52 <small>気象庁</small> 洪水警報	4:20 <small>豊橋市</small> レベル5 緊急安全確保 梅田川 氾濫
7:04 <small>気象庁</small> 大雨警報	4:30 <small>豊橋市</small> レベル5 緊急安全確保 柳生川 氾濫
7:20 <small>豊橋市</small> レベル4 避難指示 梅田川	

# 愛知・豊橋市 避難情報

午後4:30 **レベル5 緊急安全確保** 柳生川  
氾濫

午後4:20 **レベル5 緊急安全確保** 梅田川  
氾濫



午後2:40 **レベル4 避難指示** 柳生川

午前7:20 **レベル4 避難指示** 梅田川

午前6:40 **レベル3 高齢者等避難**

## 避難情報等

5 **緊急安全確保**

4 **避難指示**

3 **高齢者等避難**

2 **大雨・洪水注意報**

1 **早期注意情報**

# 愛知・豊橋市の状況

## 先週金曜日

### 午前

5:13

気象庁

線状降水帯予測情報

6:40

豊橋市

レベル3 高齢者等避難

6:52

気象庁

洪水警報

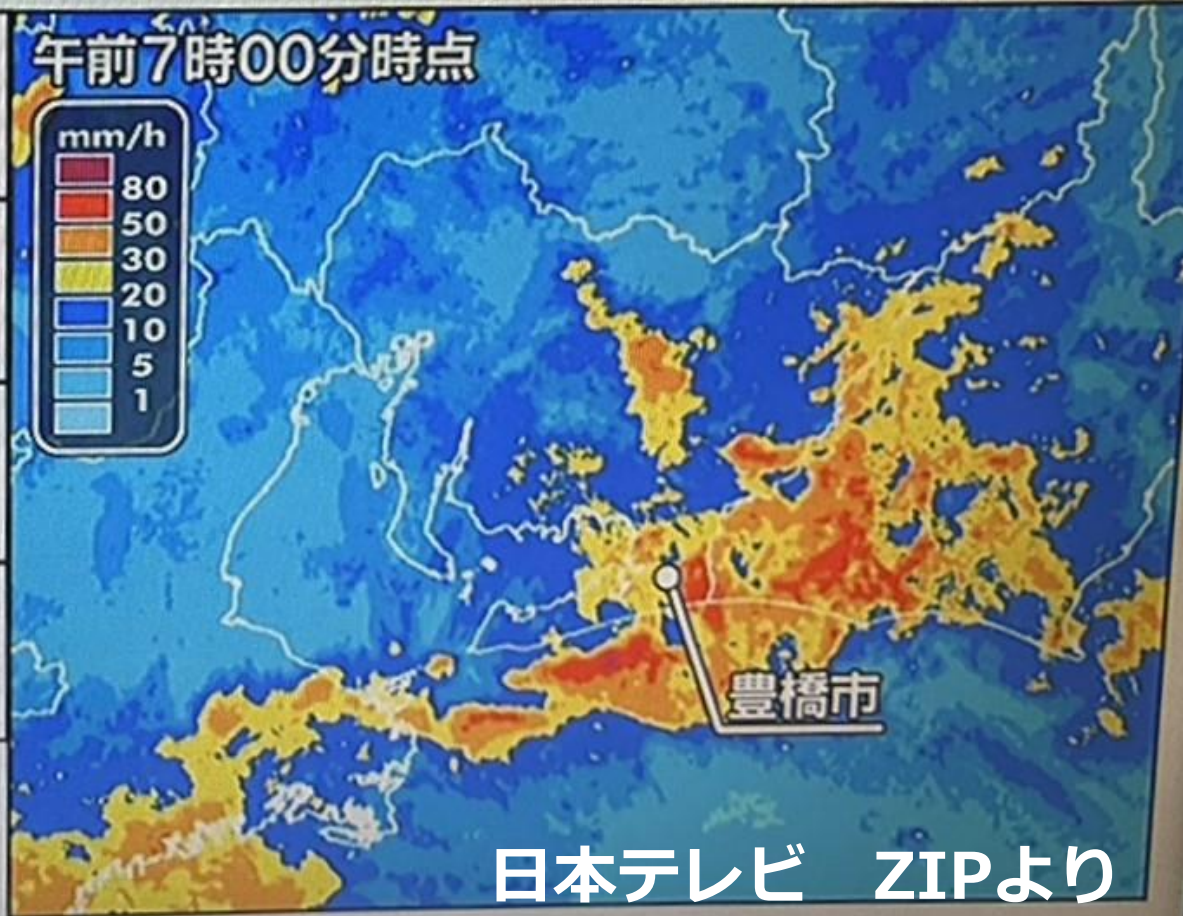
7:04

気象庁

大雨警報

午前7時00分時点

mm/h



日本テレビ ZIPより



# 【考察】

平日（金曜日）6時15分

警戒レベル3が発令されたらどうする？

（高齢者等避難）

入所施設は？

短期入所は？

訪問は？

通所は？

相談支援は？

関係先

ご利用者に対して

行政に対して

職員に対して

その他に対して

地域に対して

関係事業所に対して

# 本日のスケジュール

10 : 05 私の話

11 : 05 休憩

11 : 10 セッション

①防災研修デモ

②意見交換

③参加者へのメッセージ

11 : 55 自立支援協議会挨拶

# 本日のスケジュール

10 : 05 私の話

11 : 05 休憩

11 : 10 セッション

①防災研修デモ

②意見交換

③参加者へのメッセージ

11 : 55 自立支援協議会挨拶



# 災害想定ゲーム KIZUKI

介護現場で  
生まれた

地震発生後をリアルに再現した福祉施設のバーチャル・シミュレーションゲーム



リーダーシップを発揮するのは誰？



## 瞬時の判断



次々に起こるトラブルにあなたは対応できるか？



開発者 | 寺西 真昭

今、南海トラフ巨大地震の発生が危惧されています。私たち、NPO法人 高齢者住まいる研究会は、福祉施設等のBCP（事業継続計画）の策定支援を目的に、災害を具体的にイメージできる学習ツールを開発しました。地震発生直後の様々なトラブルに対して、限られた人員・時間と備品の中で、優先順位を意識して、その対応をチーム（3名）で考える、対戦型のシミュレーションゲームです。施設における新しい形の防災訓練での活用におすすめです。



お問い合わせ：NPO法人 高齢者住まいる研究会

理事長 寺西 真昭 090-1418-2652  
〒435-0001 愛知県一宮市本曾川町黒松宇山72番地



## 要配慮者利用施設防災講習会（平成29年12月19日、20日、平成30年1月16日、17日、29日、30日@名古屋大学減災館）

熊本地震を経験した老人福祉施設の施設長から、当時の災害対応についてお話をいただきました。また、福祉施設等のBCP作成支援を目的とした災害想定ゲーム「KIZUKI」を体験しました。



### 受講者の声

- 災害を体験したかのごとく、リアリティに富んだ学びが出来た。現場で起きたことやニーズをイメージでき、早急に所属施設と自宅の防災・災害時マニュアルを作成すべきと思った。また自分の気持ちがポジティブになった。
- 職員のメンタルを考えての対応をされた施設長の思いが伝わってきた。気づき・学ぶこと・チームワークが大切であることを分かった。（以上、グリーンヒルみふね吉本施設長講演）
- 災害時、瞬時が非常に大切であり、取るべき行動によっていかにその後が変わってく

# 大地震

- **KIZUKIカードで想像力を膨らませる**
- **自事業所の被災状況を具体的にイメージしてみる**
- **対応や対処を考える**
- **事前対策を導き出す**

## 2-3. 防災計画と自然災害 BCP の違い

防災計画を作成する主な目的は、「身体・生命の安全確保」と「物的被害の軽減」ですが、その目的は、BCP の主な目的の大前提となっています。つまり、BCP では、防災計画の目的に加えて、優先的に継続・復旧すべき重要業務を継続する、または、早期復旧することを目指しており、両方の計画には共通する部分もあり密接な関係にあります。

防災計画と自然災害 BCP の違い①

	防災計画	BCP
主な目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・身体、生命の安全確保</li><li>・物的被害の軽減</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・身体、生命の安全確保に加え、優先的に継続、復旧すべき重要業務の継続または早期復旧</li></ul>
考慮すべき事象	<ul style="list-style-type: none"><li>・拠点がある地域で発生することが想定される災害</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自社の事業中断の原因となり得るあらゆる発生事象</li></ul>
重要視される事象	<ul style="list-style-type: none"><li>・以下を最小限にすること<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 「死傷者数」</li><li>➢ 「損害額」</li></ul></li><li>・従業員等の安否を確認し、被害者を救助・支援すること</li><li>・被害を受けた拠点を早期復旧すること</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・左記に加え、以下を含む<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 重要業務の目標復旧期間・目標復旧レベルを達成すること</li><li>➢ 経営及び利害関係者への影響を許容範囲内に抑えること</li><li>➢ 利益を確保し企業として生き残ること</li></ul></li></ul>
活動、対策の検討範囲	<ul style="list-style-type: none"><li>・自社の拠点ごと</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・全社的（拠点横断的）</li><li>・依存関係にある主体（委託先、調達先、供給先）</li></ul>



リスク

つまり、従来の防災計画に、避難確保、障害福祉サービスの継続、地域貢献を加えて、総合的に考えてみるのが重要です。



# 自然災害（地震・水害等）BCPのフローチャート

## 1. 総論

### （1）基本方針

### （2）推進体制

### （3）リスクの把握

- ①ハザードマップなどの確認
- ②被災想定

### （4）優先業務の選定

- ①優先する事業
- ②優先する業務

### （5）研修・訓練の実施 BCPの検証・見直し

- ①研修・訓練の実施
- ②BCPの検証・見直し

## 2. 平常時の対応

### （1）建物・設備の安全対策

- ①人が常駐する場所の耐震措置
- ②設備の耐震措置
- ③水害対策

### （2）電気が止まった場合の対策

- ①自家発電機が設置されていない場合
- ②自家発電機が設置されている場合

### （3）ガスが止まった場合の対策

### （4）水道が止まった場合の対策

- ①飲料水
- ②生活用水

### （5）通信が麻痺した場合の対策

### （6）システムが停止した場合の 対策

### （7）衛生面（トイレ等）の対策

- ①トイレ対策
- ②汚物対策

### （8）必要品の備蓄

- ①在庫量、必要量の確認

### （9）資金手当て

## 3. 緊急時の対応

### （1）BCP発動基準

### （2）行動基準

### （3）対応体制

### （4）対応拠点

### （5）安否確認

- ①利用者の安否確認
- ②職員の安否確認

### （6）職員の参集基準

### （7）施設内外での 避難場所・避難方法

### （8）重要業務の継続

### （9）職員の管理（ケア）

- ①休憩・宿泊場所
- ②勤務シフト

### （10）復旧対応

- ①破損個所の確認
- ②業者連絡先一覧の整備
- ③情報発信

### 【通所系・固有事項】

### 【訪問系・固有事項】

### 【相談支援事業・固有事項】

## 4. 他施設との連携

### （1）連携体制の構築

- ①連携先との協議
- ②連携協定書の締結
- ③地域のネットワーク等の  
構築・参画

### （2）連携対応

- ①事前準備
- ②入所者・利用者情報の整理
- ③共同訓練

## 5. 地域との連携

### （1）被災時の職員派遣

### （2）福祉避難所の運営

- ①福祉避難所の指定
- ②福祉避難所開設の事前準備

大切なのは

**想像力！**

# 【要配慮者利用施設】

起きうるトラブルを  
イメージする！

# ゲームの目的

- ・ チームで考える
- ・ 想像力と判断のスピードを養う！



**分析（対応の手法を考える）**



**組織全体でBCP策定 その土壌作り**

# デイサービスセンター (知的障がい者施設)

舞台です。

# 巨大地震

発生したらどうなる

？

+

**豪雨災害**

# 対戦型ゲーム

どちらのチームが  
長く生き延びるか？



# 設定

**ご利用者 40名**

- ・ **午前11時18分**
- ・ **地震発生 震度6強**
- ・ **電気、ガス、水道、電話不通。**
- ・ **職員は支援員7名 看護師1名**
- ・ **管理者（リーダー）は外出中。**
- ・ **皆さんは、リーダー代行となって、現場の指揮を執ります。**
- ・ **発生するアクシデントに対して、対応する/しないを判断する。**

**このあと、明日いっぱいにかけて豪雨が予想されています！**

# 回収場

## ゲームで使うもの

アイテムカード

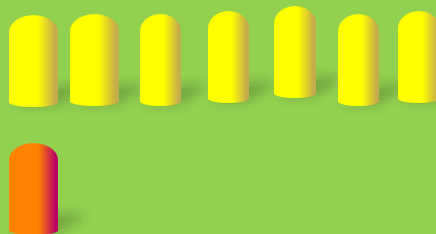
イベントカード



タイムテーブルシート

	1	2	3	4	5	6	7	
1	支援員	1	2	0	4	5	6	7
am11:20	警護員	1						
2	支援員	1	2	0	4	5	6	7
am11:40	警護員	1						
3	支援員	1	2	0	4	5	6	7
pm12:00	警護員	1						
4	支援員	1	2	0	4	5	6	7
pm12:20	警護員	1						
5	支援員	1	2	0	4	5	6	7
pm12:40	警護員	1						
6	支援員	1	2	0	4	5	6	7
pm1:00	警護員	1						
7	支援員	1	2	0	4	5	6	7
pm1:20	警護員	1						
8	支援員	1	2	0	4	5	6	7
pm1:40	警護員	1						

スタッフコマ



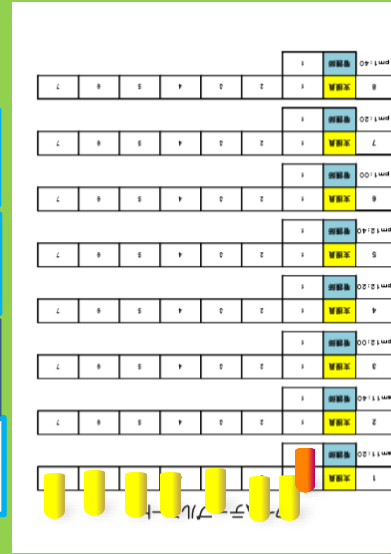
サイコロ



ライフポイント



15000P



アイテムカード



回収場

イベントカード

回収場

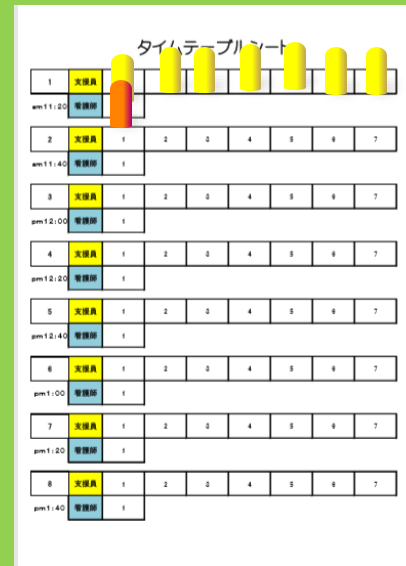
アイテムカード

水

食料

発電機

ポンベ



# 火災発生！

必要なアイテム

対応する人

消火器

支援員2名

未対応

ダメージ

1000



※ 消火器 カード1枚返却

**先攻チームは**

**『イベントカード』を  
相手チームに対して読み上げます。**

**※テーブル中央に（相手に見えるように）置く**

回収場

イベント  
カード

回収場

メガネ	毛布	ラジオ	ビニール袋
マスク	長靴	ロープ	消火器
ヘルメット	軍手	ヘルメット	簡易パーテーション
消毒セット	ビニール袋	工具セット	ローソク
地図	メガホン	送迎車	自転車

1	介護士	1	2	3	4	5
pm4:00	電線師					
2	介護士	1	2	3	4	5
pm4:20	電線師	1				
3	介護士	1	2	3	4	5
pm4:40	電線師	1				
4	介護士	1	2	3	4	5
pm5:00	電線師	1				
5	介護士	1	2	3	4	5
pm5:20	電線師	1				
6	介護士	1	2	3	4	5
pm5:40	電線師	1				
7	介護士	1	2	3	4	5
pm6:00	電線師	1				
8	介護士	1	2	3	4	5
pm6:20	電線師	1				

ポンベ

発電機

食料

水

1000

500

500

500

500

1000

500

500

500

500



タイムテーブルシート

1	介護士	1	2	3	4	5
pm4:00	電線師					
2	介護士	1	2	3	4	5
pm4:20	電線師	1				
3	介護士	1	2	3	4	5
pm4:40	電線師	1				
4	介護士	1	2	3	4	5
pm5:00	電線師	1				
5	介護士	1	2	3	4	5
pm5:20	電線師	1				
6	介護士	1	2	3	4	5
pm5:40	電線師	1				
7	介護士	1	2	3	4	5
pm6:00	電線師	1				
8	介護士	1	2	3	4	5
pm6:20	電線師	1				

消火器

ロープ

マスク

長靴

毛布

メガネ

ビニール袋

ラジオ

送迎車

地図

自転車

メガホン

消毒セット

ビニール袋

工具セット

ローソク

簡易パーテーション

ヘルメット

軍手

ビニールシート

後攻チームは

そのイベントに

対応する / 対応しないを

チームで相談して決める！

# 火災発生！

必要なアイテム

対応する人

消火器

支援員2名

未対応

ダメージ

1000










※ 消火器 カード1枚返却

消火器





# タイムテーブルシート

1	支援員							
am 11:20	看護師							

2	支援員	1	2	3	4	5	6	7
am 11:40	看護師	1						

3	支援員	1	2	3	4	5	6	7
am 12:00	看護師	1						

4	支援員	1	2	3	4	5	6	7
am 12:20	看護師	1						

# 回收場



# 攻守交替しながら ゲームは進む！

- ・ イベントカードを1枚ずつ  
**読み上げ→処理**（対応する/しない）  
して進めます！
- ・ 手元のカードがなくなり攻守交替。

どちらかのチームが...

**水カードもしくは食料カード**

**ライフポイントチップ**

どれかが無くなった時点で

**ゲーム終了**

# 天井から物が落ちてきた！

必要なアイテム

ヘルメット

対応する人

支援員1名

未対応

ダメージ

500



※ヘルメット カード1枚返却

# 点呼をとる！

必要なアイテム

メガホン

対応する人

支援員1名

未対応

ダメージ

500



# 点呼をとったら利用者が1名いない！

必要なアイテム

—

対応する人

支援員2名

未対応

ダメージ

1000



# 利用者がケガをしている

必要なアイテム

消毒セット

対応する人

看護師1名

未対応

ダメージ

500





# フロアが汚れている！

必要なアイテム

—

対応する人

支援員1名

未対応

ダメージ

500





見守り不十分で利用者が転倒！



ダメージ

1000

# 厨房からガス漏れ！

必要なアイテム

工具セット

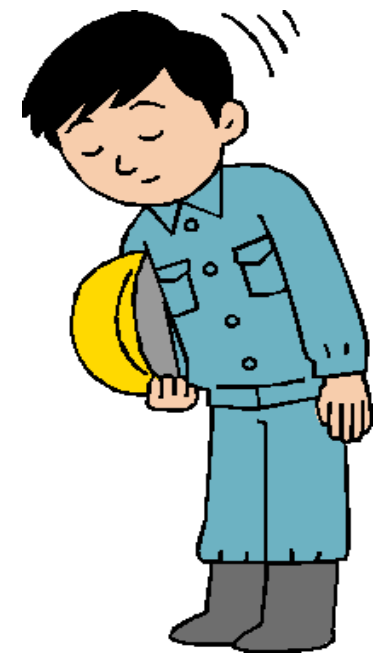
対応する人

支援員1名

未対応

ダメージ

500



# 利用者がトイレに閉じこめられた

必要なアイテム

工具セット

対応する人

支援員2名



ダメージ

1000



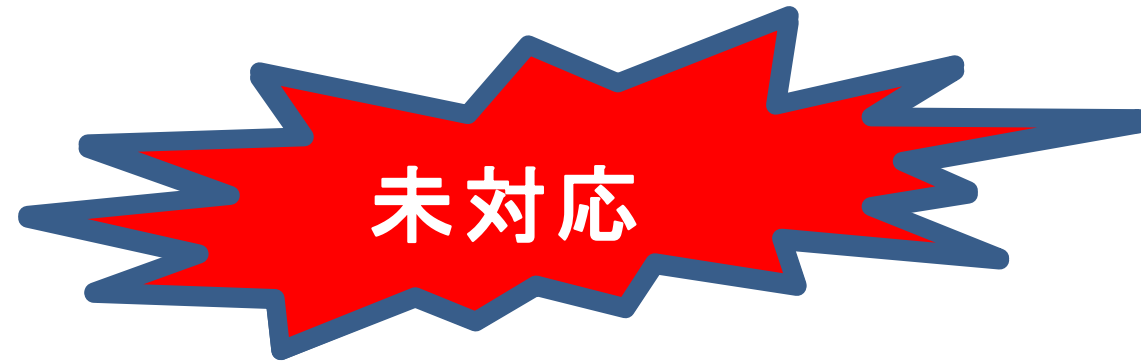
# 情緒不安定になり利用者が物を投げる

必要なアイテム

—

対応する人

支援員2名



ダメージ

1500



# 利用者同士がつかみ合いのケンカ

必要なアイテム

—

対応する人

支援員2名



ダメージ

2000



利用者が前髪を抜き、自傷行為をしている

必要なアイテム

余暇アイテム

対応する人

支援員1名



ダメージ

1000



※余暇アイテム カード1枚返却

不安になり、大声をだす事で他利用者とトラブル

必要なアイテム

パーテーション

対応する人

支援員1名

未対応

ダメージ

1000

※パーテーション

カード1枚返却





# 建物の安全確認をする

必要なアイテム

—

対応する人

支援員1名

未対応

ダメージ

500



# 情報収集をする

必要なアイテム

ラジオ

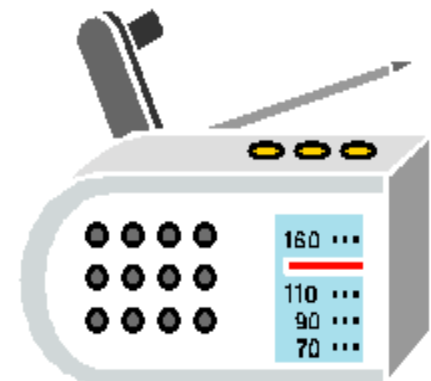
対応する人

支援員1名

未対応

ダメージ

500



支援員1名

「子どもを迎えに行かなければならない」と訴え出る  
必要なアイテム

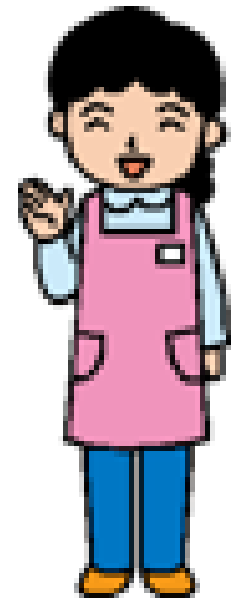
対象者

支援員1名

未対応

ダメージ

0



※職員を返す場合、支援員コマ1個返却

来訪者！「避難指示」を聞いたから  
避難させてほしい

必要なアイテム

ー

対応する人

支援員1名

未対応

ダメージ

500



来訪者！救助活動に協力して欲しい  
(日頃、お世話になっている町内会長より)

必要なアイテム

—

対応する人

支援員2名

未対応

ダメージ

1000



来訪者！避難所への誘導を手伝って欲しい  
(民生委員さんより)

必要なアイテム

ー

対応する人

支援員1名

未対応

ダメージ

500



来訪者！水を分けて欲しい  
(日頃、お世話になっている町内会長より)

必要なアイテム

水×2

対応する人

—



ダメージ

1000

※水 カード2枚返却



# 本日のスケジュール

10 : 05 私の話

11 : 05 休憩

11 : 10 セッション

①防災研修デモ

②意見交換

③参加者へのメッセージ

11 : 55 自立支援協議会挨拶



# 【考察】

平日（金曜日）6時15分

警戒レベル3が発令されたらどうする？

（高齢者等避難）

入所施設は？

短期入所は？

訪問は？

通所は？

相談支援は？

関係先

ご利用者に対して

行政に対して

職員に対して

その他に対して

地域に対して

関係事業所に対して

# 本日のスケジュール

10 : 05 私の話

11 : 05 休憩

11 : 10 セッション

①防災研修デモ

②意見交換

③参加者へのメッセージ

11 : 55 自立支援協議会挨拶